

# 令和5年度 東京都農林総合研究センター研究成果発表会 プログラム

No.	発表演題	発表者	時間
開会 (13:30)			
1	江戸東京野菜の栽培技術の開発 ～マニュアル作成で普及促進を目指します～	江戸川分場 宮澤直樹	13:35- 13:55
	江戸時代から昭和40年頃まで都内で作られていた江戸東京野菜は、永きにわたり人々の食生活を支えてきた東京の伝統野菜です。この伝統野菜の普及を図るため、代表的な10品目の栽培技術を確立しました。		
2	都内農耕地土壌の実態 ～定点調査からみた黒ボク土普通畑における土壌理化学性の変化～	生産環境科 坂本浩介	13:55- 14:15
	都内農耕地の普通畑の9割は黒ボク土です。都内農耕地に定点を設定し、畑に穴を掘って土壌中の硬さや土に含まれる養分を調査しています。その中で、直近の5年間の調査結果を、過去の結果と比較しました。		
3	無花粉スギ「心晴れ不稔シリーズ」の開発 ～新たな花粉発生源対策に向けて～	緑化森林科 畑尚子	14:15- 14:35
	無花粉スギは、花粉症対策に有効なスギです。そこで、東京都の優良なスギと他県で発見された無花粉スギを交配することにより、東京都の土地に適した無花粉スギを4品種開発しました。		
4	光で害虫の天敵を呼び寄せる ～LEDによる害虫防除～	生産環境科 大林隆司	14:35- 14:55
	昆虫が光に集まる性質を利用して、特定の色の光で害虫の天敵を誘引する技術が開発されています。そこで、夏季の直売所などの主力品目であるナスに対するアザミウマ類の防除効果を検証しました。		
休憩 (14:55-15:10)			
5	東京オリジナルのブルーベリー品種の開発 ～都内で栽培しやすく省力的な品種ができました～	園芸技術科 宮下智人	15:10- 15:30
	東京特産のブルーベリーでは、果実品質の優れる品種は都内の夏の暑さに弱いことや、一粒ずつ摘み取るため収穫に手間がかかることが課題です。そこで、都内でも栽培しやすく、美味しく、省力的な房取り収穫ができる新品種を開発しました。		
6	牛舎におけるサシバエ防除 ～ハエ幼虫のすみかと防除のポイント～	畜産技術科 太田久由	15:30- 15:50
	牛舎内で発生するハエの幼虫は、飼料残さや牛ふん堆積物をすみかにしています。幼虫のすみかなどの実態を解明するとともに、ハエの成虫を特定場所に誘引・産卵させ防除する方法などを確立しました。		
7	ハウス・圃場の見える化技術の確立 ～無線で農業現場と自宅を繋ぎます～	スマート農業 推進室 中村圭亨	15:50- 16:10
	自宅から離れた場所に分散しているハウスや圃場の遠隔監視を実現するため、農業現場における無線電波の特性を活かし市販の無線通信機器による低コストな通信システムを構築しました。		
閉会 (16:10)			